

おおくまの絆



C o n t e n t s

- 平成23年度成人式 2・3
- スマイルネットワーク 魚定食「大八」 4
- ふれあいサロン(郡山)
・役場からこんにちは 5
- 開業・開店のお知らせ 6・7
- 社協からのお知らせ 8
- みんなのフォトギャラリー 9
- あの人に伝えたい「ありがとう」 10・11
- キラキラキッズ「大熊幼稚園・豆まき」 12



おめでとう
二十歳!



平成三十三年度 大熊町成人式

1月8日(日)

会津若松市
ワシントン
ホテル

晴天に恵まれた一月八日、会津若松市のワシントンホテルで成人式が行われ、新たに成人を迎えた八十四人が出席しました。

式では、渡辺利綱町長が「前に踏み出す力、考える力、チームで働く力の三つの力を身につけ、困難な現状を打破し、新しい大熊町、新しい日本を背負って立つ人間に成長していつて下さい」とエールを送り、新成人代表の千葉真由子さんに成人証書を手渡しました。

それに対して、金澤拓也さんは謝辞で「昨年の三月十一日の東日本大震災以来、大熊町は全町民が避難という大変厳しい状況が続いています。しかし、困難を乗り越え未来を切り開くべく、一步一步しっかりと踏み出し、若い力を結束し、大熊町の復興を担えるようがんばっていきたい」と語りました。

その後、同ホテルで恩師を囲んでの謝恩会・同窓会が行われ、新成人たちは久々の友人との再会を笑顔で喜んでいました。



渡辺町長挨拶



会場には旧友との再会を懐かしむ声



謝辞を述べる金澤拓也さん

Coming of age Ceremony Gallery



スマイルネットワーク

大熊のみんなの笑顔をお届け

2



大熊町の再生を目指して、今できることを

魚定食大八 いわき市 押田吉弘さん・裕子さん

はじめに、いわき市でお店を開店されるまでの経緯を教えてください。

震災直後は町の誘導に従い常葉の体育館に避難しましたが、十二日の水素爆発事故が起きてからは自己判断でその日の夜にいわき市に入りました。それから親戚を頼りに千葉県の流れ山市へ向かい、三月末には袖ヶ浦の娘夫婦のところに世話になりましたが、あの頃は県外にいると入ってくる情報が少なく、大熊の方がどのように避難されているかがずっと気がかりでした。

そんな時、十月にいわき市に仮設住宅が設置されると聞いたので、少しでも近くにいた方が前向きになれると思い、十月からこのいわき市に戻り営業できる場所を探しました。大熊町商工会さんもいわき市の情報はそんなに多くは持ってませんでしたが、自分でも探していたところ、ご縁もありまして今の場所を見つけました。商工会さんを始め色々な方にお世話になりながら心機一転、一月五日にオープンしました。

どのようなお客さんが多いですか？

大熊町の方だけでなく双葉郡の方や、大熊町に仕事で来られてた方も懐かしんで来店していただいています。「今はどこに住んでるの?」等、色々なお話をさせていたただくのも楽しみです。この店を皆さんが故郷を思い出せる場所として提供することが私の役目だと思っています。



以前と変わらぬ、新鮮な刺身とサクサクのカキフライ定食



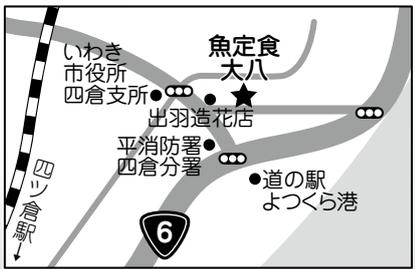
大きいテーブルはゆっくゆっく食べやすいのでのんびりが

営業する中でどのようなことを心掛けていらっしゃいますか？

私の仕事はサービス業ですので、お客さんだけでなく相手に対する思いやりや感謝の心がないと「また来たい」と思ってもらえないと思っています。もしもこうだったら? ああだったら? と考えるよりも、今与えられている環境で何ができるのかということに大事にしています。

最後に町民の方へメッセージを!

今は皆さんバラバラに暮らしていますが、どのような形になろうとも必ず大熊町は再生しますので、皆さんの心を一つにして今できることを続けていくことが大切だと思っています。私もはこのいわき市で営業を続けていきますので、お近くにお越しの際はぜひお寄りいただき、他愛もない話で盛り上がりましょう!



魚定食 大八
 〒979-0201いわき市四倉町5丁目104-2
 ●TEL 0246-32-8088
 営業時間▶ 11:00 ~ 14:00 / 17:30 ~ 22:00
 (ラストオーダー 21:30)
 定休日▶ 毎週火曜日
 ●ランチ 800 円～ ●Pあり

郡山市内コミュニティ 「おおくままちの 明日を考える会」

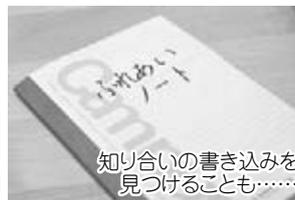
TOPICS

毎週土曜日に郡山市内の「縹りあい処 空間」で開催されている「おおくままちの明日を考える会」では、郡山市内に避難されている大熊町民の参加を随時募集しております。

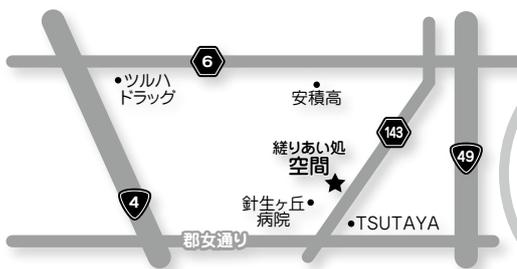
あまり難しく考えず土曜日にここに来てもらえれば、皆さんと集まって情報交換をするなり、初めての方でもどなたかとはお知り合いになれますので、「同じ町民同士」それが心の安心感を生むのかなと思っています。大それたことはあまり考えていませんので、ぜひ身近な話題をすることで気持ちが楽になっていただければと思います。（代表 太田文代さん）



この日は皆で調理したごはんを召し上がっていました



知り合いの書き込みを見つけることも……



電話予約や決まった規則もなく出入りも自由ですので、お気軽に参加してはいかがでしょうか？

縹りあい処 空間 〒963-8851 福島県郡山市開成6-357
大熊町開放時間:毎週土曜日・10時～16時

町民の生活の窓口となる大熊町役場の各部署をご紹介します！

役場からこんにちは! Vol.2

今回はいわき市で生活されている方々の対応をする、いわき連絡事務所の風間真由美さんにお話を伺いました。



いわき連絡事務所
風間 真由美 さん

大熊町役場
いわき連絡事務所

〒970-1144
いわき市好間工業団地26番地1
電話0246-36-5671
(8時30分～17時15分)

——連絡事務所の開所はいつですか？

もともといわき市は会津の次に避難されている町民の方が多く、早く仮設住宅と出張所を作って欲しいと要望があり、好間工業団地第1・第2仮設の完成と合わせて10月11日にいわき連絡事務所を開所しました。現在では鹿島町、渡辺町も合わせて407戸の仮設住宅がいわき市内に建設されました。

——開所されてから現在まで、町民のみなさんのご要望などに変化はありますか？

仮設住宅にお住まいの方からは入居当初、住宅の不具合に関する改善要望が多く寄せられました。

好間工業団地仮設では年末に自治会が設立し入居者間で交流を持てるようになりました。しかし、借り上げ住宅にお住まいの方からは市内に避難している町民と交流を持ちたい、同郷の人と触れ合いたいという要望を耳にいたします。

——風間さんが心がけている事、町民のみなさんへメッセージをお願いします。

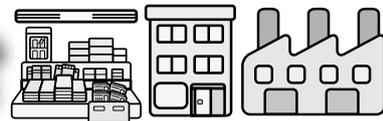
現在、スタッフ8名でいわき市内の全ての業務をしており、本部に確認が必要な事も多く、ご不便をお掛けすることもあるかと思えます。出来る限りスムーズに業務をすすめ、せつかく来ていただいた皆様にとえ小さくとも必要な情報を持ち帰っていただけるよう、努めております。

町民の方々からこちらの方が励まされたり元気付けられることも多く、皆さんが不安を抱えながらも笑顔でいらっしゃるのを見ると、本当に大熊町民の方々は強いなと感じます。そのおかげで私自身も現在までがんばってこられました。この場を借りて感謝を申し上げたいと思います。今後もよろしく願いいたします。





開業・開店のお知らせ



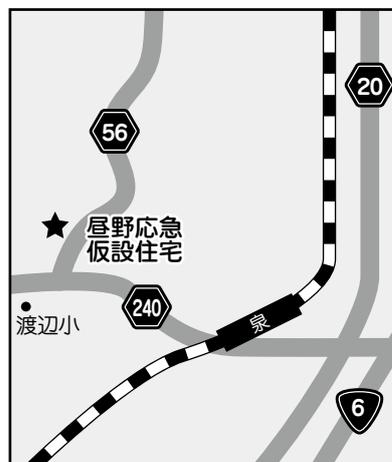
有限会社安神工業

猪狩 定雄 さん

がんばって営業中です!!
働く人、求む!!
(電気工事業)



〒972-8332 いわき市渡辺町昼野字白岩1-1
いわき市渡辺町昼野応急仮設住宅 A16-1・A16-2号室
●TEL 090-3646-6714 ●FAX 0246-38-7190



馬淵接骨院

馬淵 浩樹 さん

大熊町の皆さん、お元気ですか?
11月3日にいわき市金山町に再開業する事が出来ました。
少しずつ日常を取り戻してます。
皆様お元気でお過ごし下さい。
近くにいらした時は、是非お茶を飲みに寄して下さい。



〒974-8211 いわき市金山町朝日台143-6
●TEL 0246-38-6832 ●FAX 0246-38-6831



有限会社兼松保険総合サービス

代表取締役
松本 善延 さん

3月11日の震災、原発事故により、大熊町の本店機能を失いましたが、南相馬市原町区に支店を開いていたため、南相馬支店から再開することができました。
7月には郡山に仮事務所を設け、現在は原町と郡山を行き来しながら何とか頑張っています。限界もありますが、お客様に少しでも元気な声を届けたいと県内を飛び回ろうと思っています。今回の震災を経験し、爪痕を目のあたりにした時、保険担当者である私共もまた保険の大切さを実感させられました。
今は『人と人との絆』を大切に、私共でご協力・ご相談にお応えできることがございましたら、お気軽にご連絡ください。皆様との再会を楽しみにしております。

郡山仮事務所

〒963-8071 郡山市富久山町久保田字愛宕33-21
●TEL 024-983-7027 ●FAX 024-983-7028

南相馬支店

〒975-0007 南相馬市原町区南町1-127-2
●TEL 0244-25-3026 ●FAX 0244-25-3126



相双信用組合大熊支店

相双信用組合大熊支店からのお知らせ

相双信用組合では、被災・避難されているお客様に対して会津若松市・いわき市で相談所を開設しております。

通帳・証書の記帳・再発行、預金の入出金取扱及び融資の返済、条件変更、借入のご相談を受付しております。

※尚、多額の現金出金の際は相談所へ事前に連絡してください。

※営業時間:午前9時30分～午後2時30分



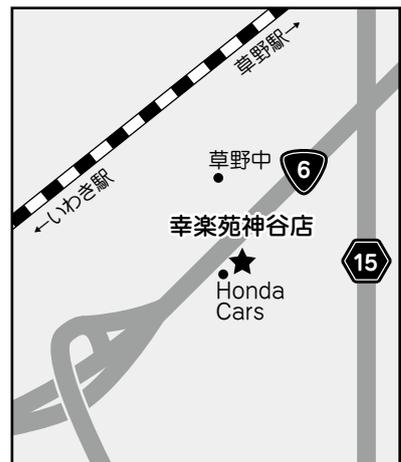
太田商事株式会社(幸楽苑神谷店) 社長 太田 宏明 さん

町民の皆様方には、未だかつてないご不自由な生活を強いられている事と御察し申し上げます。幸楽苑大熊店では、皆様方に多大なごひいきをいただいております。ありがたく御礼申し上げます。

当社は姉妹店でいわき市平下神谷6号線沿いにて幸楽苑神谷店を営業しております。皆様方には既にご利用いただいておりますが、店長はじめ明るく元気をモットーに毎日休まず午前2時まで営業しております。

お近くへおいでの際は、ぜひお立ち寄りください。

〒970-0101 いわき市平下神谷字下川原1-57
●TEL 0246-34-2979 ●FAX 0246-34-7631



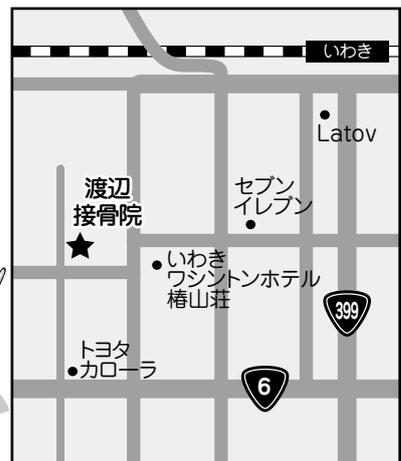
渡辺接骨院

渡辺 安雄 さん

まもなく震災から1年ですね。

皆さんいろんなご苦労があったと思います…周りの方々のお陰で渡辺接骨院の再スタートが出来ました事を感謝しながら、少しでも皆様のお役に立てるよう治療に専念していきたいと思っております。

どうぞ今後とも宜しくお願い致します!!



〒970-8026 いわき市平字紺屋町11
●TEL・FAX 0246-38-7468



つながっぺ! おおくま 社会福祉協議会からののお知らせ

大熊町社会福祉協議会 〒965-0873 会津若松市追手町2番41号（会津若松市役所 追手町第2庁舎内）TEL:0242-29-5760 FAX:0242-29-5761



皆様の温かいご支援ご協力ありがとうございます



3月11日に発生しました東日本大震災により大熊町社会福祉協議会は、4月に会津若松市に機能を移転し一年を迎えようとしています。事業を実施する中、たくさんのご支援ご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

多くの協力をいただいた支援物資館

大熊町社会福祉協議会では、関東ブロック社会福祉協議会の支援のもと、6月14日に生活支援ボランティアセンター「つながっぺ!おおくま」を会津若松市に開所いたしました。

8月からは会津若松市社会福祉協議会より支援物資館を引継ぎ、大熊町役場会津若松出張所の西体育館で支援物資の提供活動を行ってまいりました。物資館には避難された方々が少しでも日常生活に近づけるようにと、全国からたくさんの支援物資をお寄せいただきありがとうございました。また、大熊町民はもとより会津若松市の方々をはじめ、遠方は関西地区からのボランティアの皆さまの参加をいただきました。文字通りボランティア（無償）の活動が原動力となり成し遂げた事業でありました。

この間、数多くのご意見が寄せられ、改善はしてきましたが、活動に限界があり、至らぬ点は皆さまのご理解とご支援により大過なく終了できたこと感謝申し上げます。ご支援ご協力ありがとうございました。



ボランティアセンターキャラクター「くまべえ」のTシャツを作成、活動時に使用しました



多くのボランティアさんに協力をいただいた支援物資館



中外製薬株式会社様から寄贈いただきましたリフト付車両

寄贈車両による外出支援サービス事業

現在、会津若松市にお住まいの方を対象に概ね65歳以上の高齢者や高齢者世帯で、心身の障がいにより一般の交通機関の利用が困難な方（介護認定者で、車イス等での移動が必要な方、またはこれに準ずる身体状態の方）を対象に外出支援サービス事業を行っております。事業にはご寄贈していただきましたリフト付車両と車イス同乗車を存分に活用しております。

今回紹介いたしました他にも多くのご支援ご協力をいただいております。皆様、誠にありがとうございます。

みんなの

フォトギャラリー

①お名前②大熊住所③現住所 コメント

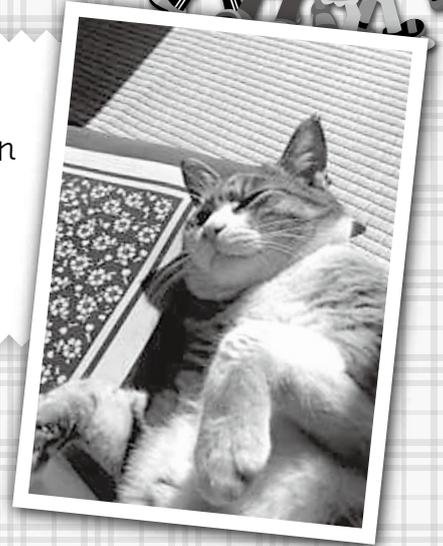


大吾だよ!周吾だよ!

①広嶋大吾くん・周吾くん ②熊川
③会津若松市
みんな元気ですかあ?
大吾も周吾も元気だよ!
どこかで見かけた時は、声をかけてね!
友達の名前、忘れてないからね(^.^)v

最愛の「家族」でした。

①吉田光男さん②小入野③郡山市
震災・原発事故を境に現実の絆は断ち切られ
ましたが、こころの絆は永遠です。だって、
我が家の家族の中心だったんだもん。
それなのに、東電はペットは「財物」だ
なんて許せない。写メは震災・事故前
我が家でくつろぐお猫ちゃんです。



ふさぎ込んではいけない!

①ゆうちゃん②夫沢③会津若松市
今できることを!ということで、
そり滑りにきました。
スキーも滑れるようになったよ!

郡山 おおくままちの 明日を考える会 より



①猪狩瑛一さん②旭台③郡山市
郡山に避難している皆さんと毎週
「ふれあいサロン」で楽しく過ごして
おります。

①加藤百合子さん②熊一區③郡山市
今日は一人でこちらにやってきました。
それでも楽しいです!(写真左)

①渡辺敏子さん②熊二區③郡山市
大熊の皆と会えるのを毎週楽しみにして
います。知り合いもたくさん出来ました。(写真右)

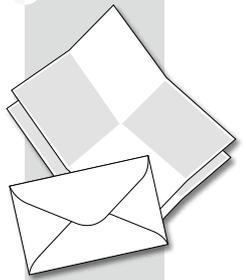


①島 英子さん②野上③郡山市大槻町
あの震災で避難してから約1年。
毎週、大熊の皆さんにお会いできるの
がたのしみです。



①志賀久良さん②大川原③郡山市八山田
郡山の農家でボランティア活動しています。
家族みんなでなかよく頑張っています!

あの人に伝えたい「ありがとう」



- ① お名前
- ② 大熊住所
- ③ 現住所

突然の電話で……

三月十一日のあの震災と原発事故から1週間が過ぎようとしていました。

あの日から私達家族は三春町の体育館で避難生活をしていました。毎日がとても早く過ぎていました、しかし一歳になったばかりの娘を連れての避難所での生活はとても大変なもので私達夫婦は心身ともに疲れていました。(周りの方たちも同じ境遇だと感じていましたが)娘も環境の変化からか夜もあまり眠らなくなり、妻も眠れなくなっていました。体調もあまり優れなくなり体育館での生活から何とか抜け出したいとそのことばかり考えるようになっていました。しかし移動の手段はなくどうしようも出来ませんでした。親戚に頼ろうにもガソリンが不足していて迎えないと言われ、電車も震災の影響で再開していない。途方にくれていたとき携帯電話が鳴りました、それは仕事の取引先の元営業担当でした。その担当はだいぶ前に異動になり最近は全然連絡をとっていなかったのですがとても懐かしく、そして心配して電話をかけてくれたのだろうと思い電話にでました。話しの中でいろいろ気遣ってくれ、そして励ましてくれました。そのなかでどこに避難しているのかという話題になり三春の小学校の体育館に避難していると伝えました。すると仙台の営業所からいまは郡山の営業所に異動になったと言われ、そのことに驚き今の状況を話すと

その日の朝、運良くガソリンが入られたので迎えに行つて移動の手伝いをしてくれるという話になりました。私はその言葉に素直に甘えることにしました。

その後、まもなく迎えにきてくれて、福島の親戚の家まで送ってもらいました。娘も妻もその夜は1週間ぶりの暖かい布団でゆっくり眠ることが出来ました。

あの時の感謝の気持ちは言葉で表現するのは難しいですが、あの時しばらく離れていた私のことを気にかけて電話をくれてありがとう、そしてその後のわがままを聞いてくれてありがとう。本当にありがとうございました。

(①志賀さん②下野上③いわき市)

多くの人に支えられて

三月十一日のあの日から。

突然の大地震。当時私は2階の職場で勤務に就いていました。

それまでは通常と変わりなく、お客様と電話のやり取りをしながら仕事をしておりました。

突然の大きな地震に、大きく建物は揺れ、同僚と手を取り合いやっとの思いで外に出ることができました。早々に勤務を終え、行く道路亀裂が入り、陥没の穴に車が落ちている。渋滞が始まりつつある中、何とか家路につき、余震の続く中家族と身を寄せ合

い夜を明かしました。

次の日、防災無線が聞こえない中、みんなが集まっています。話を聞くと避難するようにとのこと。

何かなにやらわからず近くの集会所に避難。地震のための避難だから直ぐ帰れるだろうと思いい、泣く犬と猫を少しのエサと水と共に身を切られるように置いて、行政に従い避難したのでした。

避難先で、それが東電の事故であったという事を知り、言い知れぬ不安を感じ、避難が長くなるにつれ、いつ帰れるのか解らない不安、疲れ、それによる体調の不調を覚えていました。

しかし、その中でも、たくさんの人たちが、自分と家族を支えてくれました。

通院するのに足がなく困っていた時に、同じ避難所の男性が、送り迎えをしてくれたこと。お世話になった巡回診療の先生が、自分の病院に自ら迎え治療してくれたこと。施設の方々、身を粉にして、私達を導いてくれた班の方。お店の人たち。

会津に移動したあとも、ホテルの方たちの笑顔と暖かい対応、職場の方々にも沢山助けられています。借り上げ住宅に移った後も、会津の先で不思議なご縁でお知り合いになった方々が、いつも気にかけてくださっています。

そして何より、家族がいなければ、この長い時間を乗り切れることはできなかったでしょう。時には衝突しあいながらも、支えてくれた家族に感謝します。

そして自分と家族を按じてくれる友人達。震災当時から密にメールをくれたり、直接会津や近隣まで会いに来てくれた仲間、昔お世話になった先生との思わぬ再会。その先生には今でもお世話になっています。

今回、この震災、目に見えるあるいは見えぬ形でのたくさんの支えがなかったら、とうに自分達はどうなっていたかわかりません。そして、ここには書ききれないくらい、語りつくせないほど沢山の出会いも助けもありました。

そして、当たり前前にあった日々が実はそうでなかったことの大切さ等本当に教えられたことも沢山ありました。沢山受けた今度は自分が何か出来ないか、そうも感じています。

この場をおかりして沢山の方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

(①中野さん②熊③会津若松市)



家族と一緒に

地震の翌日、三月十二日の朝に身重の妻と子供を連れて大熊から避難をしました。避難所、親戚宅を経て、現在は会津若松市内の借り上げ住宅に落ち着くことができ、昨夏には妻が出産して新しい生命を授かりました。この大変な時期に、無事に産んでくれた、そして無事に生まれてきてくれたことに安堵と感謝をしています。

もうすぐ避難から一年が経とうとしています。子供たちがいてくれるおかげで、先の見えない避難生活でも気持ちが沈むことなく、騒がしいながらも

毎日明るく過ごせています。その生活を支えてくれる妻がいるからこそ、そう感じることができると思っています。改まって妻に言うのも気恥ずかしいですが、いつもありがとうございます。これからもよろしく。

(①匿名②野上③会津若松市)

両親へ

私が今、ありがとうと伝えたい人は両親です。

三月十一日、はじめは津波から逃げるつもりが、原発事故の避難に変わり、なるべく遠くへと避難している時、母親の実家である南相馬市小高区の家に住む祖父が津波で流されたと言われました。助けにいこうにも、放射線の危険から身を守らねばならず、絶望の中で時間だけが過ぎていったのが昨日の事のように思いだされます。

父はそんな母のために、少しでも力になれるならと、祖父の捜索に向かう義兄弟のため、当時不足していたガソリンを届けに何度となく、避難先の新潟から南相馬市へと運びました。

あれから、一年が過ぎようとしています。

実家をなくし、大熊の家にも帰れず、それでも母は、父は前向きに生きています。

自分も被災してから、幾度と無く気が滅入りそうになることがあります。ですが、その度に両親の笑顔、姿勢を思い浮かべると、自然と希望がもて、勇気が湧いてくるのです。

震災により、家族の絆はより一層深まりました。普段は照れくさくて言えませんが、おとん、おかん、今まで本当にありがとう。

(①佐久間さん②夫沢③会津若松市)

あの人に伝えたい「ありがとう」みんなのフォトギャラリー 投稿募集中!

A あの人に伝えたい「ありがとう」

震災の時に助けてくれた人へ、避難先でお世話になった人へ、今お世話になっている人へ……伝えたい「ありがとう」はありませんか?直接言うのが難しい、あなたの「ありがとう」の気持ちを紙面で紹介させてください。

直筆ハガキ、
絵手紙なども
OK!

B みんなのフォトギャラリー

みなさんがお撮りになった写真を募集しております! 大熊町に関すること、震災に関すること、我が家のペット自慢など、題材はなんでもOK!携帯やデジタルカメラで撮影したものをメールに添付してお送りください。



- ①お名前②大熊町での大字名③現在お住まいの都道府県や市町村名をお書きください。※匿名をご希望の際は、その旨お知らせください。
 - Aの「あの人に伝えたい『ありがとう』」はメールの本文かテキストファイルを添付してご応募ください。ハガキ・封書での投稿もお待ちしております。
 - Bの「みんなのフォトギャラリー」は携帯メールかPCメールに画像を添付して、画像のタイトルやコメントも記載してください。
- ※掲載はモノクロになります。※ご応募いただいた原稿は返却できませんのでご了承ください。

メールでの応募先

okuma@next-hamashin.co.jp (右のQRコードからもメールを送れます。➡)

郵送での応募先

〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号
大熊町役場 会津若松出張所企画調整課「おおくまの絆」係





KIRA KIRA KIDS

Vol. 2

会津若松市内にて再開された大熊幼稚園を訪問し、雪遊びを満喫する元気いっぱいな子供たちと園長の林洋一さんにお話を伺いました。

大熊幼稚園（節分・雪遊びの風景より）



こちらはいつ再開されたのですか？

幸運なことに元々廃園となっていたここの園舎を借りることができ4月から再開しましたが、ここだけでは教室が足りなかったため他の園舎も借りて、年少、年中組だけの園と年長組の園に別れての生活となってしまいました。それでも月に一度の誕生会はみんな揃ってお祝いをしています。また先生たちの中には大熊町以外から通っていた先生もいるのですが、皆さん園児たちのためにと、一緒に会津に来てくださりとても感謝しております。

こちらに来てからの園児たちに何か変化はありますか？

我々が見ている限りでは園児たちに特に変わった様子は見られません。大人たちは大変と感じるこの雪でも、園児たちは大熊町ではあまり体験できない雪ですのでとても楽しんでます。

どんな雪遊びをされていますか？

一番の楽しみは園の裏にある小高い丘からのそり遊びです。またバケツやコップの水に色を付けて外に置き、次の日には凍っている氷のアイスケーキを作ったり、雪だるまや雪合戦とたくましく感じるほどにいっぱい遊んでいます。

町民の方々へメッセージをお願いします。

園児たちは震災前と変わらず毎日元気に園生活を送っています。子供は大人の鏡です。未来を信じ、力強く生きる姿を子供たちに大人が見せてあげてください。

大熊町立大熊幼稚園（会津若松分園） ☎0242-75-3150
〒969-3471 福島県会津若松市河東町広田字塩新 182



林 洋一 園長

みんなのおもいをつなげる大熊町コミュニケーション誌

おおくまの絆

2012年3月発行

発行 大熊町

大熊町役場 会津若松出張所
〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号（会津若松市役所 追手町第二庁舎内）
電話 0242-26-3844 代表(8時30分～17時15分) FAX 0242-26-3794
E-mail okuma@town.okuma.fukushima.jp
ホームページ <http://www.town.okuma.fukushima.jp/>